

# 釜ヶ崎解放了

全国日雇労働組合協議会  
釜ヶ崎支部 釜ヶ崎日雇労働組合  
電話 06-632-4273

## 4.21宝塚市2名生きつめ労災事故死糾弾！ 手抜き工事に居直った宝塚市の工事再掲の 強行をゆるさんぞ！

## 本日、工事再掲弾劾！決起集会に 結集しよう！（ふるアジ〜市民館3かい）

仲間たち

七月十日、西宮労基協は、労働安全衛生法第21条の2項と、同規則54条違反の容疑で、下請、徳山組の社長を書類送検した。危険を防止する措置をとらなかつた」という容疑だ。

宝塚市が手抜き工事の責任を、市橋組・徳山組に押しつけたように、市橋・徳山が、死亡した徳山組の配管工である金さんに押しつけようとしたり、乗客の安全を無視した。労基署でさえ、業者の手抜き工事の責任を明確にせざるをえなかつたのだ。しかし仲間たち、それでも、市橋組・徳山組は、手抜き工事の責任を居直らうとしており、宝塚市は、自らが訴追、それなかつたことをタテにとつて、「責任はいっさいない」と、居直りつづけんとしてゐる。手抜き工事によって仲間を殺した

奴に責任をとりさせるのは、手抜き工事によって殺される。むしろ労働者の実力闘争によってのみ可能なのだ。手抜き工事によって労働者を殺して居直れば、どうなるのか、思い知らせていこうではないか。

昨日、寿日労働の仲間と、山谷の仲間たちは、5月23日の川崎での5名の労働者の生きつめ死亡事故に対して、「真相究明、責任追及、安全対策確立」の闘いに決起し、川崎市との団交をおこなった。「労災事故」という名での、国家権力による「隠し殺し」現代版「強制労働、人柱化」との闘いは、全国闘争場での闘いと拡大した。本日の工事再掲弾劾集会から、7月後半集中闘争に決起せよ。市当局・手抜き業者を根底からゆさぐす一大決起に向け、釜ヶ崎の旗に結集し、決戦を準備せよ。